

松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」

このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

くつぎたいは

第20号(2007年1月) 松江赤十字病院

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

新病院の実設計が まとまりました!

松江赤十字病院

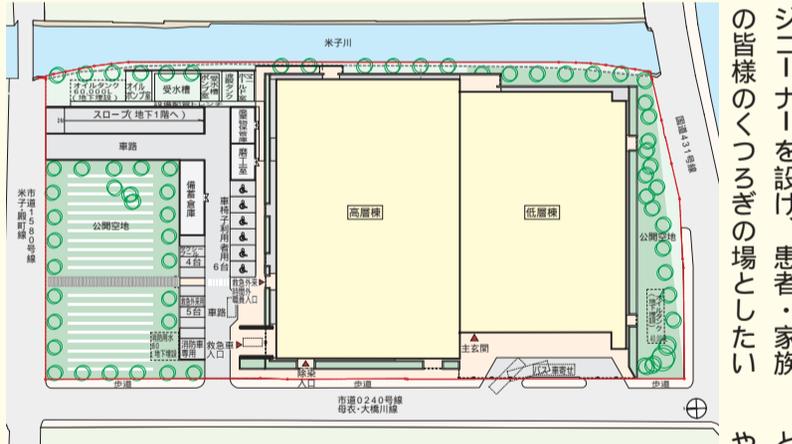


イルを設け、明るく広い空間をとります。

配置図で分かりますように、高層棟1階北側に救命救急センターの入口を設け、24時間救急患者様に対応します。また低層棟1階西側の外来入口近くにバス乗り場・車寄せを設け、天候が悪い日にもすぐに外来入口に入れるようにしています。

そのほか高層棟1階にはコンビニやATMコーナー、眺望の良い13階には外来食堂やラウンジコーナーを設け、患者・家族の皆様にくつろぎの場としたい

新病院建設基本計画をもとに病院各部署とのヒアリングを重ね、このほど実施設計をまとめました。
敷地配置図や各階の構成を示す「断面構成図」は別紙のとおりです。
最初に建設する高層棟は地下1階地上14階建て主に病棟や放射線・各種検査部門を整備します。そして災害救護を使命とする赤十字病院としての機能を発揮するため屋上にはヘリポートを設置し、災害医療や救急医療に貢献していきたいと考えています。



RF	病棟構成は現時点の予定	
14F	EVホール	ヘリポート
13F	機庫室・電気室・高架水槽	
12F	霊安室	サーバー室 調理実習室 外来職員食堂 健診者食堂
11F	耳鼻科病棟	泌尿器科病棟
10F	整形外科病棟	眼科病棟
9F	亜急性期・回復期リハビリテーション病棟	総合リハビリテーション
8F	内科総合病棟 DS病棟	内科総合病棟 腎センター
7F	外科病棟 歯科病棟	第3内科病棟 放射線科病棟 皮膚科病棟
6F	形成外科・婦人科病棟 呼吸器内科・外科病棟	呼吸器内科 外科病棟
5F	小児病棟 (NICU, GCU含)	産科病棟 (LDR含)
4F	脳外科病棟 神経内科病棟	循環器病棟 心臓外科病棟
3F	手術	ICU-CCU MEセンター 家族ラウンジ
2F	病理解剖・標本室 中央材料 栄養課 中央監視室 熱源機庫室 人工透析	管理部門 (院長室・副院長室・事務部長室・看護部長室 医局・図書・看護部・事務部・当直)
1F	救命救急病棟 輸血・再生医療 検体検査 生理機能検査 内視鏡 中央処置 中央採血	管理部門 (更衣室等) 薬剤 機庫室・電気室
B1F	放射線診断・治療・核医学検査	施設課倉庫 廃棄物庫 サービスヤード

と考えています。
医療機能の面では、救命救急センター、ICUの整備など救急医療の充実を図るほか、NICU、LDRの整備など周産期医療の充実、また入院患者様においしい食事をしていただくための食堂デイルーム、サテライトキッチンの整備など食事環境の充実も図っています。
病室については、現在6床室が多い病室を4床室と個室を基本とした病室とするほか、1床当りの面積も増やすなど療養環境の改善を図っています。
外来については、低層棟の1階と2階に各診察室を設け、患者様に分かりやすい配置とするほか待ち合いスペースも広くとっています。さらに放射線科や各種検査への移動の負担を軽減するため検査室の配置や動線にも工夫をしました。

そのほか、敷地北側には公開空地(緑地広場)を整備し、地域住民の皆様にも気軽に利用いただけるように考えています。
長い期間の工事になることから患者・家族の皆様をはじめ、地域の皆様にもご不便ご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。
(関連記事3面)

各科紹介

麻酔科

手術を受けることが決まった場合、皆様が最も心配に思われることのひとつに麻酔があげられるのではないのでしょうか。新聞やテレビで麻酔事故のニュースが頻繁に報道される最近の状況もあり、麻酔への不安を掻き立てられたりするでしょう。

「麻酔がちゃんとかかるのだろうか?」、「麻酔が切れたら凄く痛いのは?」、「麻酔から醒めないってことはないのだろうか?」、「麻酔の副作用は?」などなど、心配事が多いのではないかと思います。

最近の麻酔事故調査では、麻酔が原因で死亡する率は10万人に1人とされています。しかし、大丈夫です。きちんと管理された麻酔は非常に安全なものですから。麻酔の目的は安全に手術を受けていただくことです。治療のための手術や麻酔であっても一時的には体に負担がかかります、手術前の状態や手術の

種類によっては大きな影響が出ます。痛みや意識をなくすることも大切ですが、手術や麻

どを考慮して最適な方法で行います。手術中に起こる可能性のある事態に対しては、事前にその準備をすることも麻酔科の重要な役割です。そのため私たちは手術の前日まで患者さまを訪問し、全身状態をしっかりと把握させていただき、当科では「麻酔を受けられる方へ」

とほぼ全分野に渡っています。山陰地方では先駆的な日帰り手術にも対応しています。全体として、島根県の特徴である御高齢の患者さまが多いこと、また糖尿病、心疾患、腎疾患などをはじめとする合併症を持つ患者さまが非常に多く、手術・麻酔に際してはいつも細心の注意を払って行っております。また、当院は松江圏域の急性期医療を担う総合病院であり、救命救急センターがあることから多くの緊急手術も行われます。私たちが麻酔科は、夜間・休日も含め24時間対応をしており、緊急手術の要請があれば迅速に対応いたします。

「麻酔の説明書」という、麻酔の方法や流れ、よくある質問などを解説した小冊子を作成し手術を受けられる患者さまに配布しておりますのでご参照ください。

それとともに「麻酔科術前問診表」をお渡ししておりますので、記入にご協力ください。また、分からないことがありましたら、麻酔の説明に伺った麻酔科医になんなりとお尋ねください。

現在、当院麻酔科のスタッフは5名で年間約2500件の手術麻酔を担当しております。手術内容は、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、泌尿器科、産婦人科、整形外科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、口腔外科



あり、手術の術式、手術部位、患者さまの全身状態、年齢な

消化器外科、泌尿器科、産婦人科、整形外科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、口腔外科

最後に。現在の外科手術の進歩は、麻酔科学の進歩があ

つてこそ、と言っても過言ではないくらいに麻酔科学の進歩は目覚ましいものがあります。私たち麻酔科スタッフは、

それをさらに進め皆様のご期待に応えられるよう、日々さらなる研鑽をつんでいきたいと思っております。

クリスマスコンサート



当院3階理学療法室において、12月25日(月)の午後2時から循環器科加藤医師と研修医三村医師の温かい申し出により患者さまへ音楽のクリスマスプレゼント。循環器科塩

「NHKみんなの体操」も盛り込まれ、観客の参加意識が高まりました。「もろびとこぞりて」「サンタが街にやってくる」「あわてんぼうのサンタクロース」を合唱したときには、みなさん子どもに還っていました。ピアノの連弾は感動的でした。ピアノの音に耳を傾けながらひとときショパンの世界にのめり込んでしまいました。ヴァイオリンとピアノのための協奏曲「愛の挨拶」等々、「きよしこのよる」の歌で終演となりました。素晴らしい演奏を聞かせていただきありがとうございました。

出部長のあいさつからクリスマスコンサートが始まりました。ピアノの独奏・ピアノの連弾ヴァイオリンとピアノの二重奏。合間に、新館6階西病棟スタッフの協力により



クリスマスキャンドルサービス

病院職員による初めてのクリスマスキャンドルサービス

看護師長

月坂 美智代

患者様の一日も早い回復の願いを込めた歌声と共に松江赤十字病院の職員による初めてのクリスマスキャンドルサービスを行いました。これは松江赤十字看護専門学校が結成できました。「きよよし」のよる、「もろびと」のよる、「アカペラでのコーラス練習、歌いながらキャンドルを灯して歩くという練習を行い、当日は、3つのグループに分かれて病棟を回ると病院全館に歌声が響きわたりました。患者様、ご家族様からは感謝の言葉をたくさん頂きました。

言語聴覚士

青木 亮子

キャンドルサービス本番までに、何回か歌や歩く練習を行いました。



うか。

本3病棟看護師

原 朱里

今回、キャンドルサービスに参加させて頂く事ができ、とても貴重な体験となりました。人前に入る事が苦手な私は参加に迷いましたが多くの患者様に喜んでいただけよう、自分も何か役に立ちたいと思い、参加を決めました。仕事が終わったからの練習は大変でしたが一生懸命行いました。本番では精一杯気持ちはこめて歌い、患者様が一生懸命私達の歌を聴いてくださり、「入院してクリスマス気分は味わえないと思ってたのにすごく嬉しくて感動した。」などと後からお話をきくことができ、参加して本当によかったです。



10~11月医師紹介



麻酔科 奈良井康宏

12月より麻酔科で勤務しています。患者様に安心して手術を受けていただけるよう、より一層努力していきたいと思っています。島根県出身ですので、院内で見かけたら気軽に声をかけてください。よろしくお願ひします！

院長の橋北庭花写真散策

(6)



椿「天倫寺絞り花」

場所：松江城椿谷
日時：平成19年1月21日
原産地：日本
科名：ツバキ科ツバキ属

今回が最後となりますので松江城の樹花に決めました。この時期至るところでサザンカを目にしますが、一月に入ってツバキの赤も目立つようになってきました。次いで多くみかけるのが香りの強い素心蠟梅の黄金色でしょう。

「第14回全国椿サミット松江大会記念 天倫寺絞り花」の名札を掛けています。椿谷の東端

の歩道近くに咲いています。花の印象と同じく楚楚として女性的で優しい樹姿をしています。姉妹花として植えられたのでしようか、すぐ隣に天倫寺月光が小振りの赤い花を咲かせています。

木花ではありませんが、白い松江郷土館の入り口付近に置かれたプランターに明るい紫色のアネモネが一輪元気に風に揺られています。

長い間お付き合い頂き有り難うございました。まだまだご紹介したい木花が沢山ありました。残念です。



仮設

病院建設のため
ご不便をおかけします。

救命救急センター(新館1階南側)



計算(本館1階)



会計本館1階



お薬受渡し(本館地階)



売店(本館地階)



小児科(新館1階)



医療社会事業部受付(本館1階)



松江赤十字病院 外来診療担当表

平成19年2月1日現在

診 療 科		月	火	水	木	金
第一内科 (糖尿病・内分泌・代謝)		垣羽 寿昭	佐藤 利昭		佐藤 利昭	佐藤 利昭
			垣羽 寿昭			垣羽 寿昭
第二内科 (血液・免疫・腎臓)		大居 慎治	漆谷 義徳	遠藤 章	大居 慎治	漆谷 義徳
				戸谷 誠二	井手 宏明(午後)	
第三内科 (消化器)		吉野生季三	井上 和彦	香川 幸司	橋本 朋之	内田 靖
		香川 幸司	内田 靖	藤澤 智雄	井上 和彦	橋本 朋之
循環器科		塩出 宣雄	城田 欣也	塩出 宣雄	城田 欣也	後藤 賢治
			後藤 賢治			西楽 顕典
神経内科		清水 保孝	太田久仁子	福田 弘毅	清水 保孝	福田 弘毅
		瀧川 洋史		瀧川 洋史		
呼吸器内科		徳安 宏和	河崎 雄司	担当医	徳安 宏和	河崎 雄司
呼吸器外科			磯和 理貴			磯和 理貴
精神神経科	初診	山根 康人	室津 和男	山根 康人	石王 覚	石王 覚
	再診	山根 康人	室津 和男	山根 康人	山根 康人	山根 康人
	再診	石王 覚	石王 覚	室津 和男	石王 覚	室津 和男
小児科	一診	白石 英幸		白石 英幸	白石 英幸	白石 英幸
	二診	米澤 環	岡田 雅行	虫本 雄一	米澤 環	岡田 雅行
	三診		日衛嶋栄太郎		日衛嶋栄太郎	
外科		八杉 八郎 曳野 肇 (乳腺専門外来)	大森 浩志	田井 道夫	田窪 健二	韓 秀炫 曳野 肇 (乳腺専門外来)
	一診	齋藤 彰	川合 準	戸田 保弘	小田 裕造	近光 将彦
整形外科	二診	中山威知郎	小田 裕造	近光 将彦	齋藤 彰	川合 準
	三診	神庭 悠介		中山威知郎		戸田 保弘
形成外科		梶 彰吾	梶 ひろみ	梶 彰吾	中川 浩志	梶 ひろみ
		中川 浩志		林田 健志		林田 健志
脳神経外科		(急患のみ)	矢原 快太	(急患のみ)	中岡 光生	香川 幸太
			荒木 勇人(午後)			
心臓血管外科	午前	添田 健	手術	手術	添田 健	手術
	午後				齋藤 雄平(1.3.5週) 瀬戸崎修司(2.4週)	
泌尿器科		浜本 隆一	小海 力	浜本 隆一	小海 力	浜本 隆一
		大野 博文	浜本 隆一	小海 力	大野 博文	大野 博文
皮膚科		大学医師	大学医師	休診	大学医師	休診
産婦人科 (午前初診・午後再診予約)		澤田 康治 産科(初)婦人科(初・再)	吉賀 峻 産科(初)婦人科(初・再)	木瀬 照康 産科(初)婦人科(初・再)	澤田 康治 産科(初)婦人科(初・再)	藤脇 律人 産科(初)婦人科(初・再)
		藤脇 律人 産科(初)婦人科(初・再)	木瀬 照康 産科(再)		藤脇 律人 産科(再)	
眼科		高梨 泰至	高梨 泰至	高梨 泰至	高梨 泰至	高梨 泰至
耳鼻いんこう科	初診	船越 宏子	松田 英賢	伊藤 和行	松田 英賢	伊藤 和行
	再診	松田 英賢	武田真紀子	船越 宏子	船越 宏子	船越 宏子
	再診	武田真紀子	伊藤 和行		武田真紀子	武田真紀子
リハビリテーション科(初診は紹介患者)			角田 賢		田村 邦彦	
放射線科		森岡 伸夫	原田 宏海	検査	検査	森岡 伸夫
歯科		安藤 修二	安藤 修二	安藤 修二	安藤 修二	安藤 修二

年末年始のパーテイメニュー

外来糖尿病教室から

毎年恒例となりました、外来糖尿病教室調理実習「おせち料理」は昨年未も盛大に行うことが出来ました。病院の新設工事の関係で、山陰中央新報文化センターの料理教室をお借りしたの教室となりました。

「糖尿病教室」ということで、一般的には特別な制限食というイメージがまだ強いよう、いわゆる「こちそう」は食べてはいけなると勘違いされる方も多いのが現状です。病院の栄養課が提案している食事は、糖尿病をはじめとする生活習慣病や、最近話題のメタボリックシンドローム予防の食生活をいかに楽しむかということであり、広くすすめて行きたいと思っています。

「おせちは買うもの」「外食の方がセンスがいい」などという言葉も聞かれる中、手軽で簡単なパーテイメニューとして、「柚子釜蒸し」や「変わりロールサラダ」、合鴨のローストなどを紹介し、参加者の皆さまと一緒に楽しく作って食べる事が出来ました。健康を考えた内容のメニューでもありますが、一緒に作ることも一緒に食べることで、集まった皆さまが仲良くなるきっかけにもなりました。

病院の栄養課は治療食を提供するだけでなく、楽しい食卓の演出をお手伝いするのも大切な役割だと思っています。年末の定番教室として今後も続けたいと思っています。皆さまので、皆さまのご意見を聞かせていただきます。よろしくお願いします。お問い合わせは